

## **3.11 東日本大震災からの復旧**

**是澤 優**

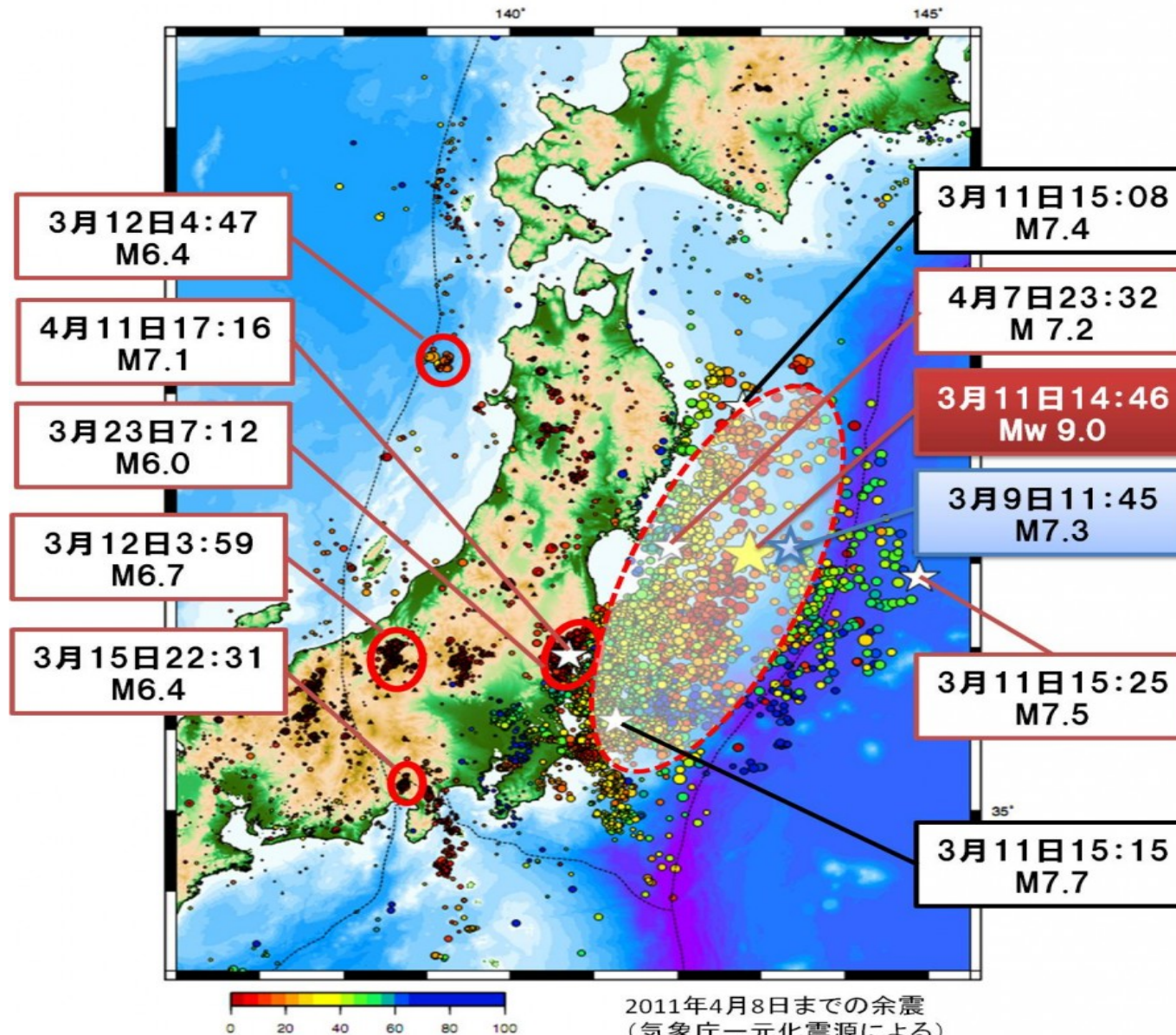
**消防庁**

**総務省**

**日本政府**

※ 本資料は英語版からの仮訳です。

# 3.11 東日本大震災



# 人的・物的被害

## 地震の規模:

Mw 9.0

## 人的被害:

死者:	15,884
行方不明者:	2,633
負傷者:	6,148

## 建物被害

全壊:	127,302 戸
半壊:	272,849 戸
一部損壊:	748,777 戸

## 経済被害

約 169 兆円  
(約 1990 億USD)

- 世銀は、経済コストは2350億USDに達すると推定

# インフラの早期復旧

耐震技術とインフラの早期復旧は復旧のみならず長期の復興にとっても重要



( six days later... )

**BEFORE**



**AFTER**

( approximately a month later... )

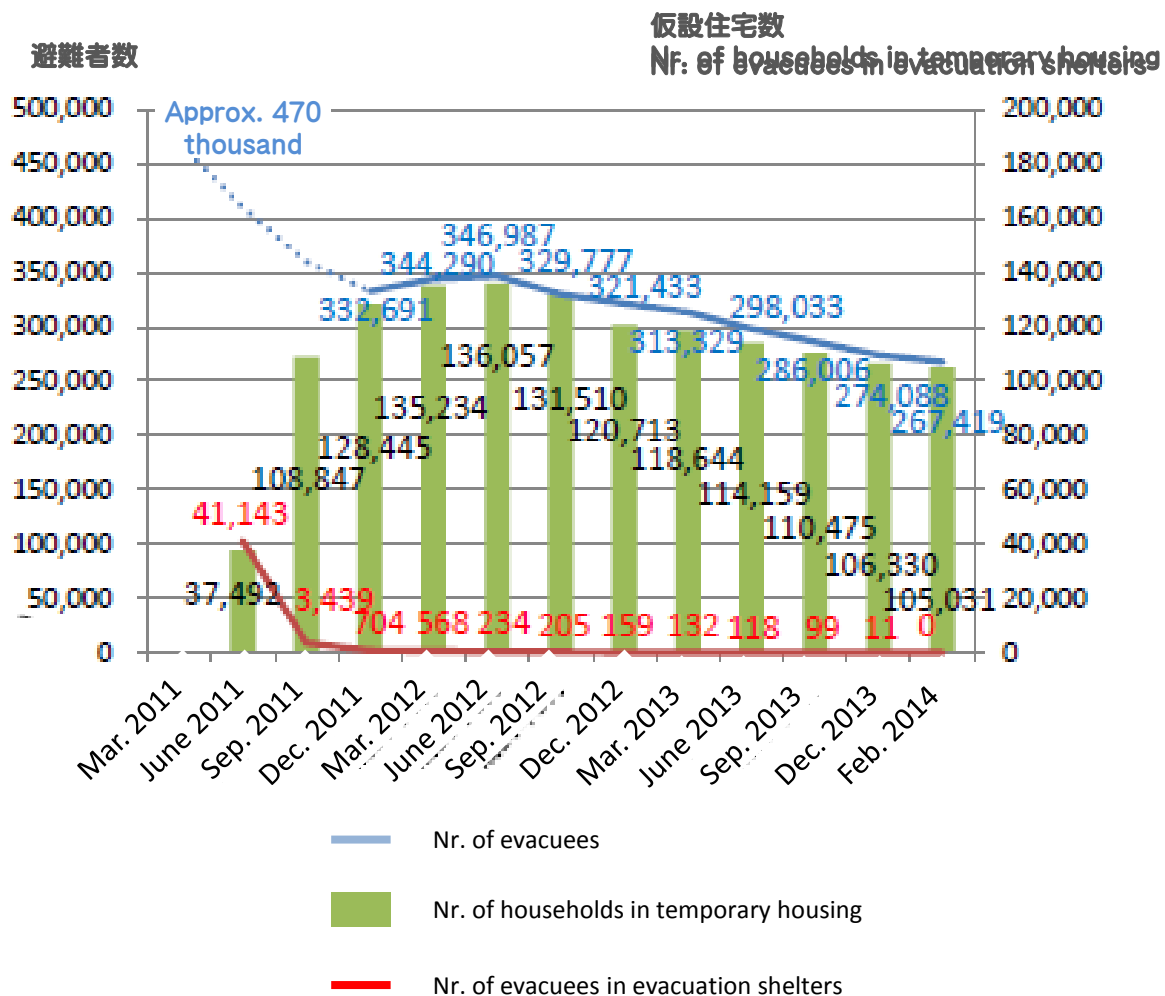
Source) Reconstruction Agency

# 避難者及び仮設住宅

避難者数は47万人から  
26.7万人に減少

仮設住宅の入居世帯数も  
減少

恒久(復興)住宅の建設は  
徐々に加速化している。



# クロノロジー

- 
- 2011年3月11日 東日本大震災発生  
緊急災害対策本部設置
  - 2011年4月11日 東日本大震災復興構想会議の設置(有識者によす諮問会議)
  - 2011年5月2日 第1次補正予算成立 約4兆円(422億USDドル)
  - 2011年6月24日 復興基本法施行  
東日本大震災復興対策本部設置  
復興庁設置を決定
  - 2011年6月25日 復興構想会議「復興への提言～悲惨のなかの希望～」

# クロノロジー

2011年7月25日 第2次補正予算成立 1.91兆円(201億USDドル)

2011年7月29日 復興基本方針策定(復興期間10年間で事業規模23兆円程度と見込む。)

2011年11月21日 第3次補正予算成立 9.24兆円(972億USDドル)

2011年11月30日 復興財源確保法

2011年12月7日 The Act on Special Zone for Reconstruction

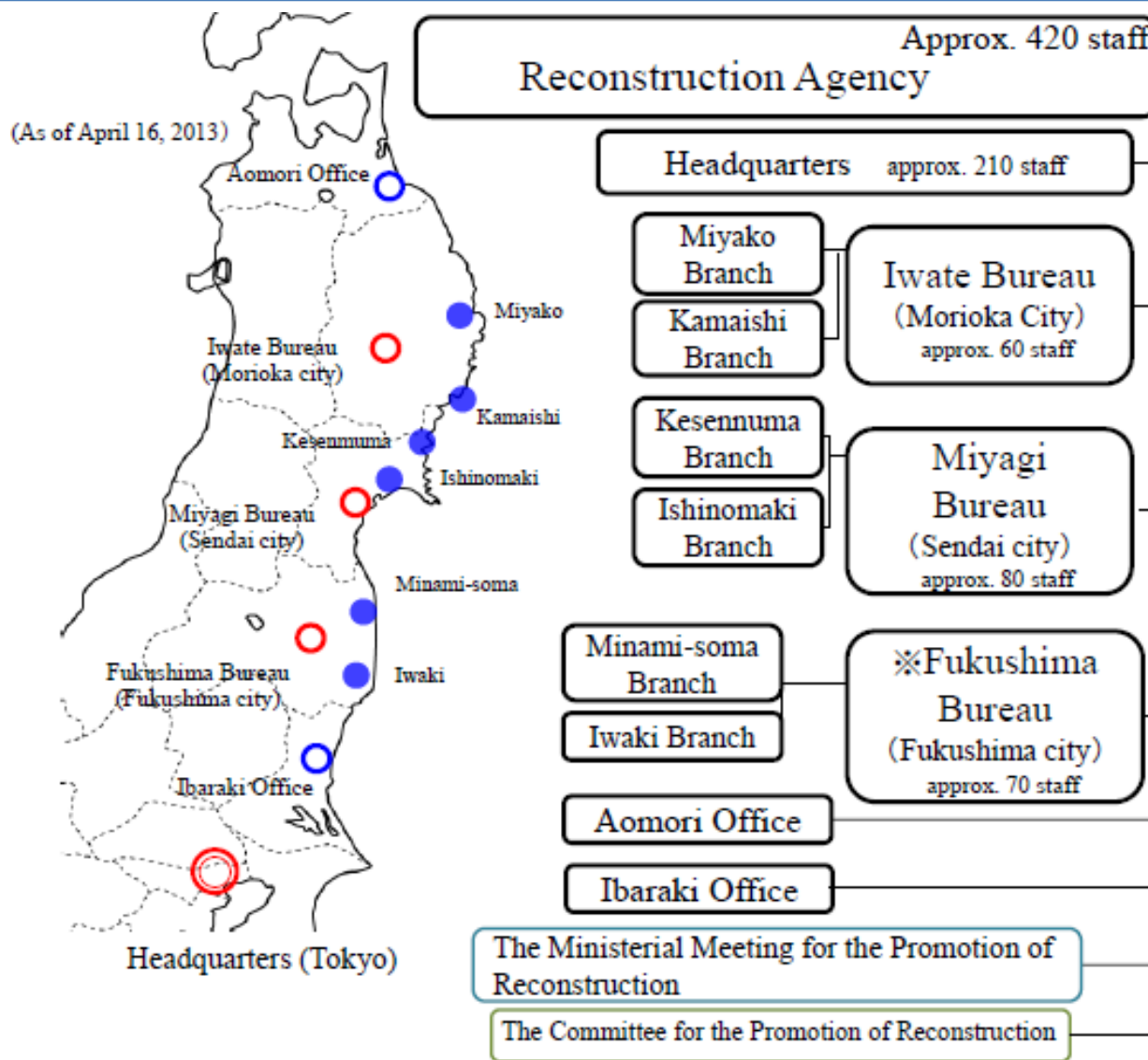
2011年12月16日 復興庁設置法成立

2011年2月10日 復興庁設置(10年間の期限)

- ✓ 復興庁は、復興過程を牽引し、推進していく中心機関である。
- ✓ 復興庁の役割としては、被災地の復興と再生を加速化していくことであり、このため、政府自身の諸施策の実施、復興戦略や様々な取組に関する政府の諸機関と地方公共団体の調整を実施している。
- ✓ 首相の下で、根本匠復興大臣が復興庁を統括。復興庁の職員は現在330以上。



# 復興庁及び復興局



※Note:  
As part of the initiatives to accelerate reconstruction efforts, *Fukushima Headquarters for Reconstruction and Revitalization* has been established in February 2013, bringing together the Fukushima Reconstruction Bureau, the Fukushima Office for Environmental Restoration and local Nuclear Emergency Response Headquarters

## 復興期間

- 復興期間は10年間、うち当初の5年間は「集中復興期間」

## 実施する施策

- 被災地域の復旧・復興及び被災者の暮らしの再生
- 被災地域と密接に関連する地域において、被災地域の復旧・復興と関連して(一体不可分なものとして)実施すべき施策
- 全国的に緊急に実施すべき施策

## 予算規模(推定)

- 10年間において少なくとも23兆円程度(当初の5年間に少なくとも19兆円程度)

## 復興の支援

- 「復興特区制度」の創設
- 使い勝手のよい交付金等
- 民間の力による復興

# 復興交付金

**目的:** 市町村が自ら策定した復興プランに基づき実施される復興を支援

**特徴:** 復興に必要な事業を自ら選択し、迅速且つ柔軟な実施を可能にする。  
事業に必要な資金は国が負担(追加的な国庫補助、地方交付税の加算)

## 基幹事業

道路事業

農地整備

病院の耐震化

農山漁村の整備

防災集団移転

学校施設整備

土地区画整理事業



## 関連事業

基幹事業に関連して実施される事業

基幹事業の予算規模の35%まで

規制・手続等の特例措置、税・財政・金融上の支援措置等を一括して地方自治体が策定する復興推進計画により認定

## 規制・手続に関する特例

- 公営住宅入居資格要件等の緩和
- 農林漁業加工・販売施設のための農地転用の特例

## 税制上の特例措置

- 特別減価償却/税減免
- 被災者を雇用する場合、その給与などの10%を所得税・法人税から控除
- 新たに立地した新設企業の法人税を5年間無税化

## 金融・財政上の措置

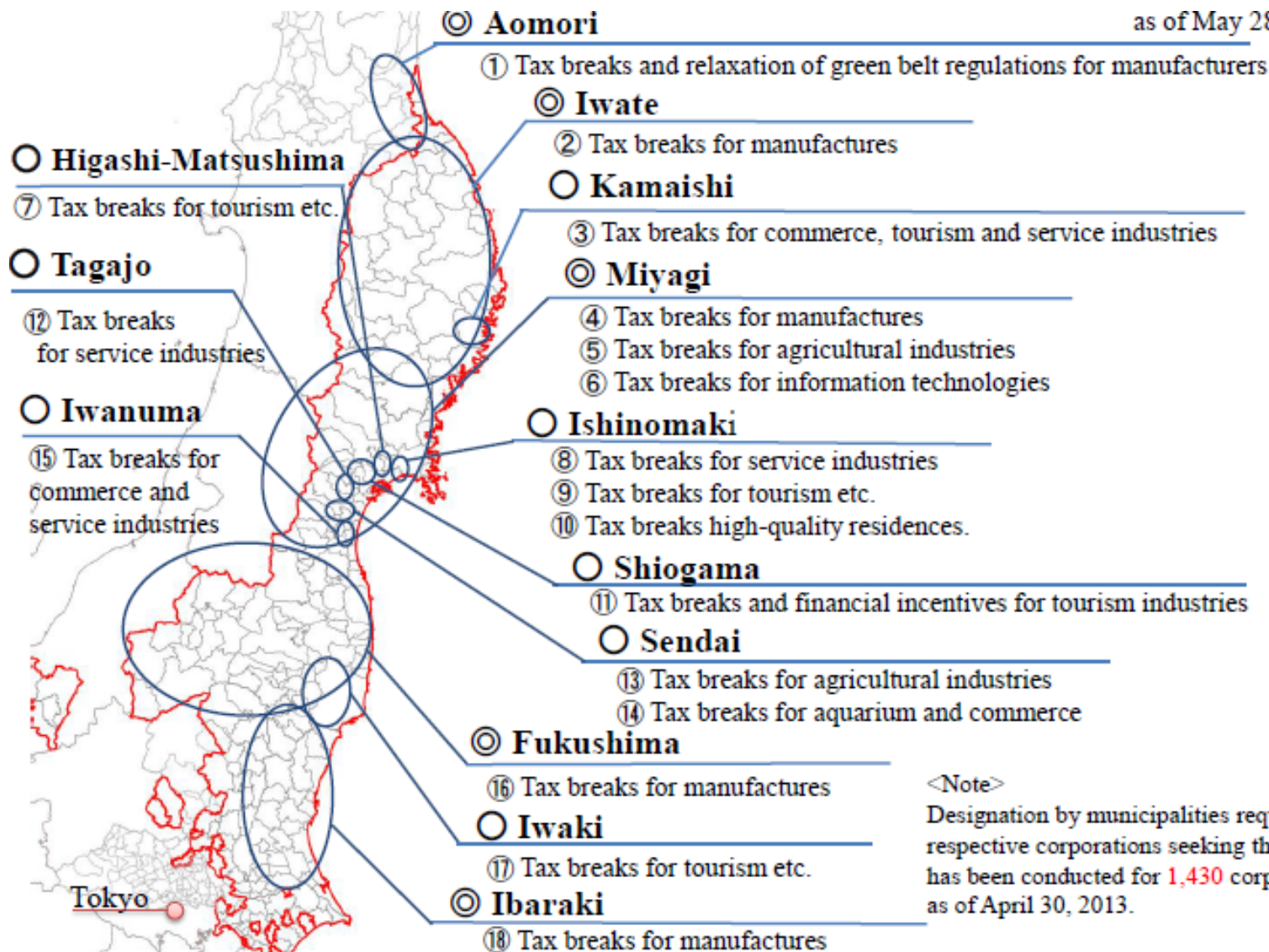
- 復興交付金 ・ 復興事業の利子補給

## 土地利用の再編

- 既存の土地利用計画の枠組みを超えた迅速な土地利用の促進(都市地域、農地、森林等)
- 津波からの避難を目的とした建物の容積率の緩和

# 復興特区での税制上の特例措置に関する承認計画

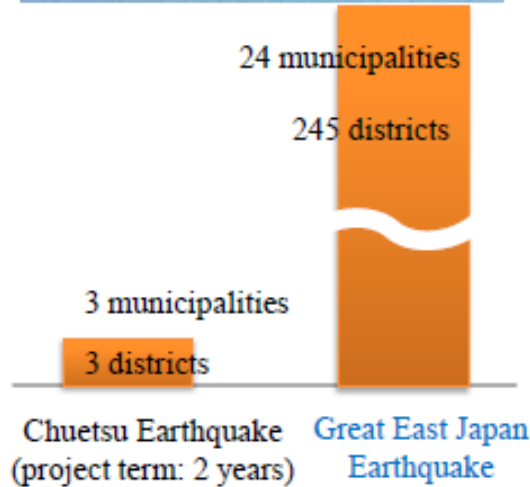
as of May 28, 2013



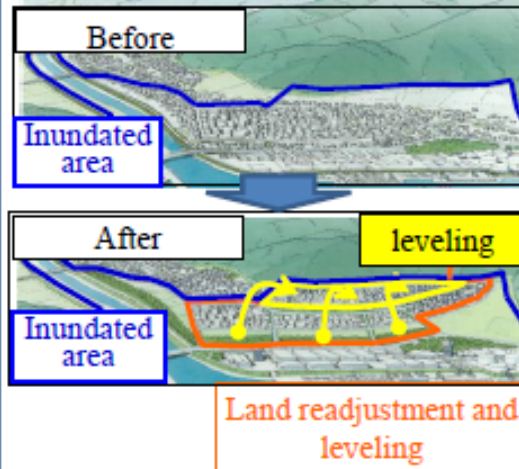
<Note>

Designation by municipalities required for respective corporations seeking the tax breaks has been conducted for 1,430 corporations, as of April 30, 2013.

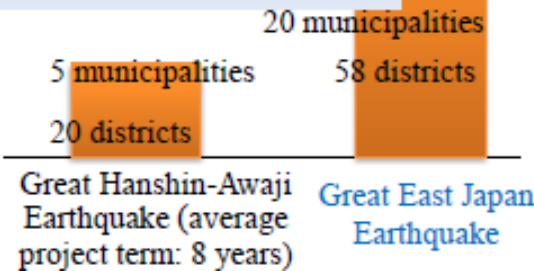
## Collective household relocation



## Land readjustment

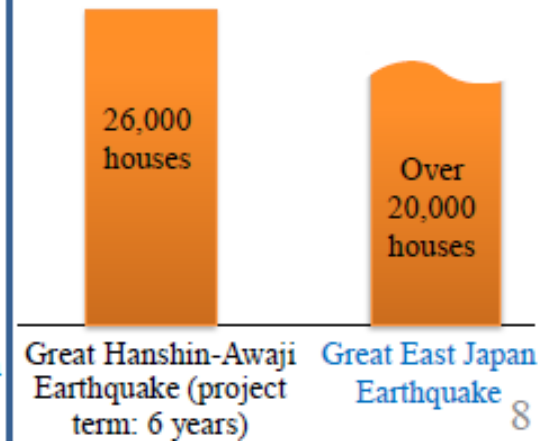


Unprecedented scale of devastation results in a massive amount of projects



## Public housing development

[ Soma City, Fukushima Prefecture ]  
Construction: Feb. 2012 to Aug. 2012  
Structure: Wooden flat compound for 12 houses



# 復興の進捗状況

## 住宅再建・復興まちづくり

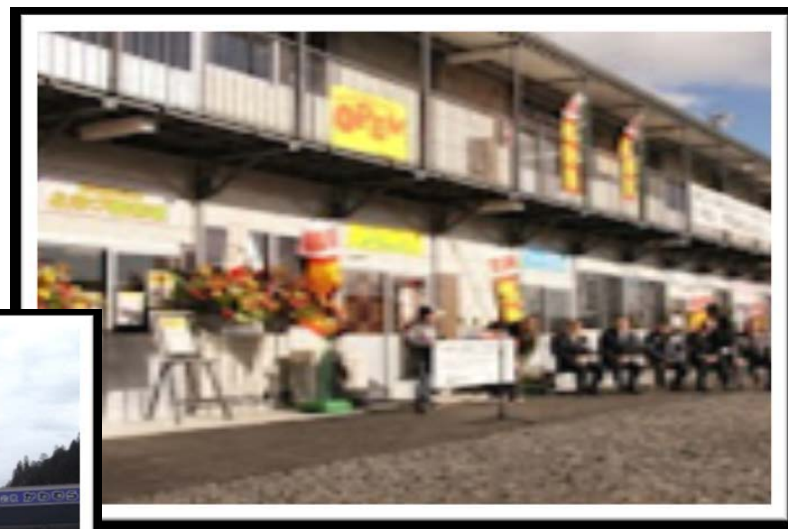
- がれき処理 / 処理割合: 34% (2012年11月) to 94% (2013年10月)
- 防災集団移転 / 大臣同意: 81% (2012年12月) to 100% (2013年11月)  
/ 着工: 64% (2013年11月)
- 土地区画整理事業 / 事業化: 27% (2012年12月) to 94% (2013年11月)  
/ 着工: 65% (2013年11月)



# 復興の進捗状況

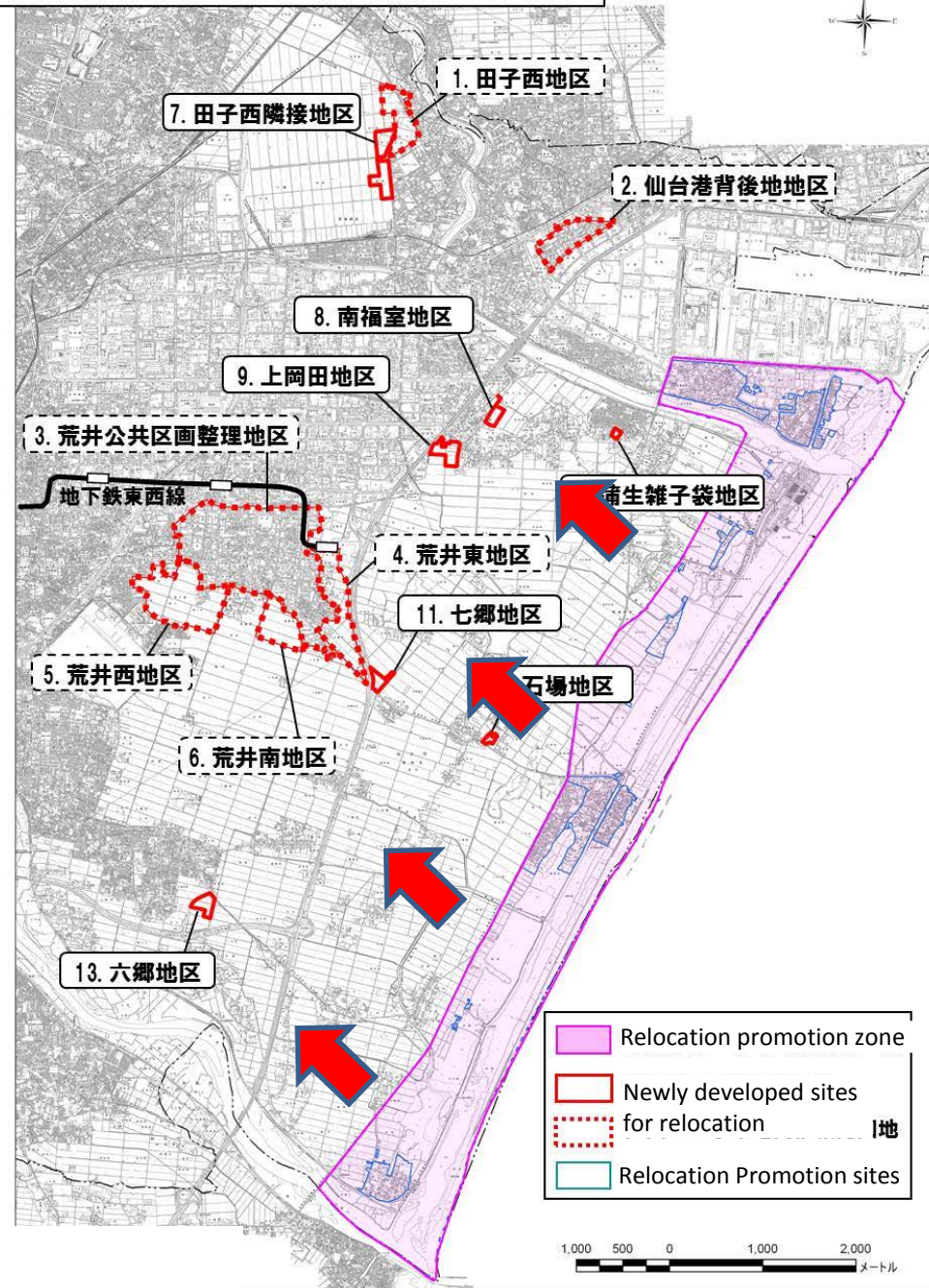
## 産業・なりわいの再生

- 農地の営農再開: 38% (2012年12月) to 63% (2013年12月)
- 水産加工施設の業務再開: 69% (2012年12月) to 78% (2013年9月)
- 仮設工場・仮設店舗: 868 店舗・工場の整備 (2013年11月)

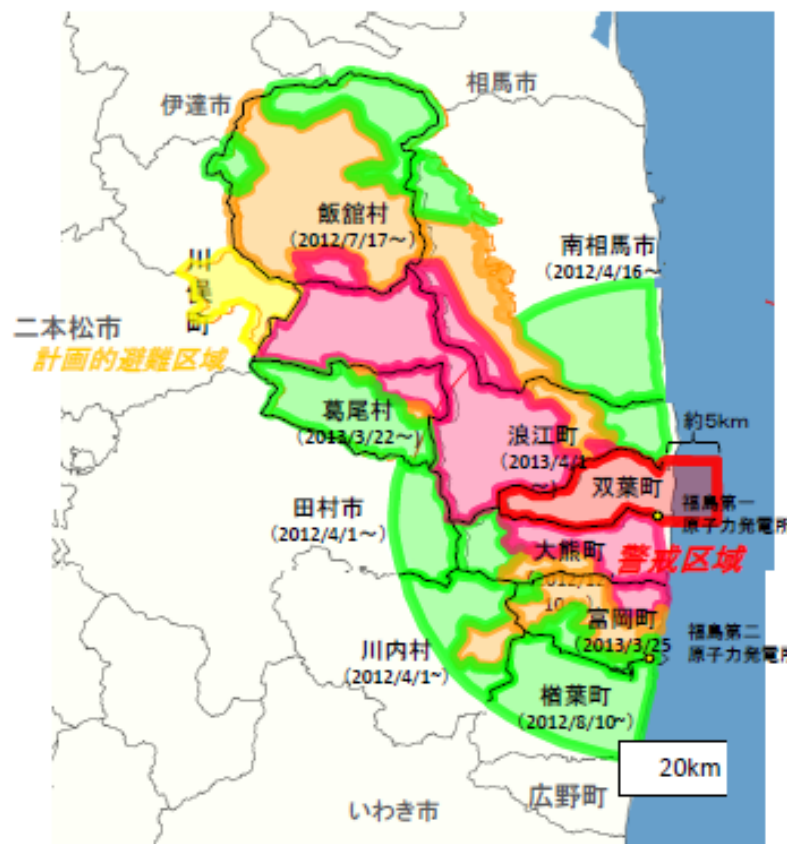
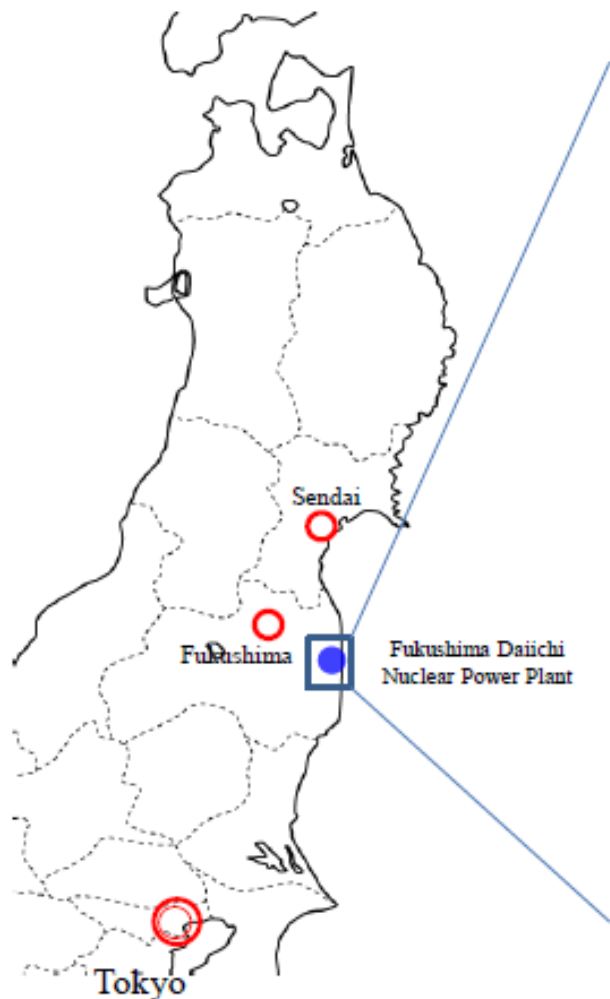




# 防災集団移転促進事業区域図



# 福島県における避難指示区域



# 避難指示区域

**Evacuees in Fukushima** Approx. 154,000 persons in total

(1) Inside Fukushima Approx. 97,000 persons

(2) Outside Fukushima Approx. 57,000 persons

Other areas such as Yamagata Prefecture have also evacuees.

## Evacuees from Evacuation Order Area

Approx. 107,000 persons in total

《Areas with no restrictions on new business or entry》

Evacuation order ready to be lifted Approx. 33,000 persons

《Areas with restrictions still in place》




Deliberate Evacuation Area Approx. 1,000 persons

Residents are not allowed to live in Approx. 25,000 persons

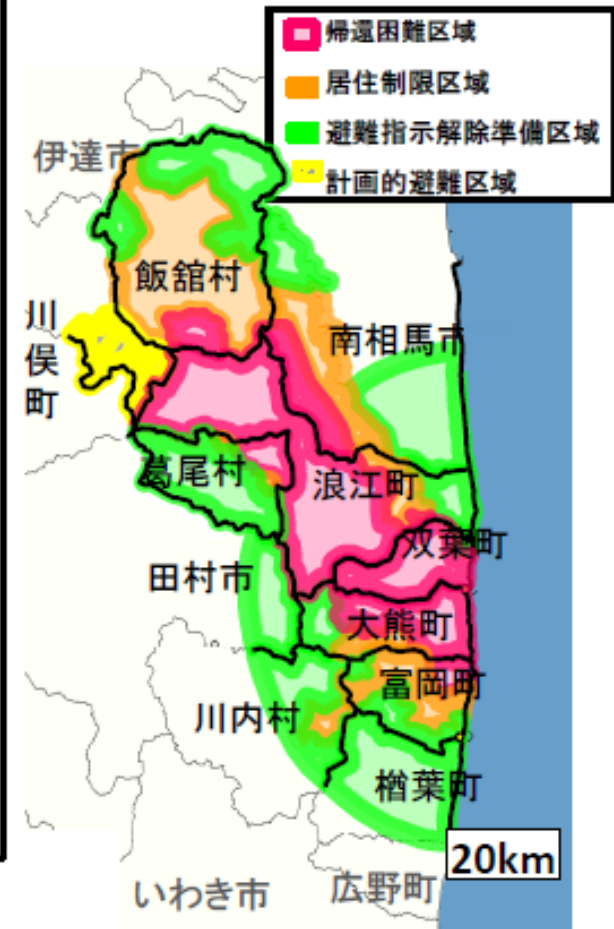
Long-term evacuation inevitable Approx. 25,000 persons

It is to be noted that the **status of the aforementioned evacuation order area is expected to be downgraded to the one with fewer or no restrictions, thereby enabling new businesses to be operated.**

Review of zoning for all the municipalities except Kawamata-Machi has been completed.

-  Area where estimated radiation level is less than 20 mSv/y
-  Area where continued evacuation is required in the interests of minimized radiation exposure on the grounds that estimated annual radiation may exceed 20 mSv/y
-  Area with the current radiation exceeding 50 mSv/y, thus it is anticipated that estimated annual radiation five years later may exceed 20 mSv/y.

(as of May 28, 2013)



# 結論

- “経済再生、危機管理と並んで、復興の加速化は安倍内閣の最重要課題”  
(根本匠復興大臣)
- がれき処理、インフラストラクチャの復旧は進展しているが、住宅を失った被災者を収容する公営住宅の建設や住宅地の安全な土地(高台等)への集団移転は、土地の確保の困難等の理由により、当初の想定以上に時間がかかっているものが多いものの、徐々に進捗している。
- 地域の産業の再生や経済社会の活力の維持は、震災前から高齢化や高齢化に直面していた沿岸の小集落にとっては大きな課題である。
- 福島原発の影響による避難者の対策は、避難が長期化するにしたがって、特に困難な課題となっている。



詳細については、復興庁のウェブサイトを参照  
<http://www.reconstruction.go.jp/english/>